

路上工事の改善ポイント

平成28年7月

東京都道路工事調整協議会

—— 目 次 ——

1. 概要

1-1	はじめに	1
1-2	運用	1
1-3	補足	1

2. 路上工事の改善ポイント

2-1	車の安全かつ円滑な走行のために	2
2-2	歩行者、自転車等の安全かつ円滑な走行のために	8
2-3	路上工事へのイメージを悪化させないために	12
2-4	ご理解とご協力を得て工事を進めていくために	18

3. 路上工事への不満予測チェックリスト

..... 21

1. 概要

1-1 はじめに

道路はもちろん、道路に収容されている電気・通信・ガス・上下水道などのライフラインの新設・補修・更新をする際には路上工事がともないます。ある1つの路上工事が与える悪印象は、路上工事全体のイメージダウンに繋がるため、路上工事関係者が一体となって改善に取り組むことが重要です。

そこで、道路管理者（国・都）・警視庁・ライフライン企業で構成される東京都道路工事調整協議会では、路上工事への不満を軽減するための改善点を整理した『路上工事の改善ポイント』を作成しました。

1-2 運用

現場に携わる関係者は、工事の準備段階から本改善ポイントを活用し、道路利用者および沿道住民に及ぼす渋滞や迂回、騒音などの影響を軽減した路上工事を実施して下さい。

また、工事着手後も各々の地域特性や現場状況、交通状況の変化に応じて臨機応変に活用して下さい。

1-3 補足

『路上工事の改善ポイント』の作成にあたっては、これまで道路工事調整協議会で実施してきた改善に関する各取組の結果を反映させています。

本文の途中に、＜ドライバーの視点＞、＜専門家の視点＞、＜パトロールの視点＞、＜施工者の視点＞としてコメントを記載しているので参考にして下さい。

ドライバーの視点	・東京都23区内で営業を行うタクシー・ハイヤー5社に対するヒアリング調査結果（平成22年度実施）
専門家の視点	・「路上工事の改善講習会」の講演者の意見 （コミュニケーションの専門家、カラーコーディネーター）
パトロールの視点	・道路工事調整協議会の路上工事合同パトロールでの指摘事項 ・チェックリストを活用した現場点検
施工者の視点	・「路上工事の改善講習会」に参加した施工者を対象としたアンケート調査の結果

2. 路上工事の改善ポイント

2-1 車の安全かつ円滑な走行のために

(1) 工事看板は、わかりやすく正確な内容で、ドライバーに見やすく設置を

①ドライバーに「渋滞を回避する迂回」や「事前の車線変更」を促すため、工事予告や車線数減少の標示板設置を徹底して下さい。

車線数減少の標示板は、どちらの車線を規制しているのかがわかるような標示として下さい。

また、渋滞長が長い場合は、渋滞に入る前に迂回ができるように、手前にも工事予告を追加して下さい。



図-1 工事予告と車線数減少の標示板を設置したイメージ

写真 1-1 どの車線を規制しているか不明な標示例

<ドライバーの視点>

- ×工事予告標示板が渋滞長の範囲内にあるため、渋滞を避けたルート選定ができない。
- ×工事予告標示板が工事現場付近にのみ設置され、看板に気がついた時には対応できないことがある。(特に路地における工事では、顕著である)
- ×迂回案内看板は、表示が小さく非常に見にくい。
- ×工事看板等に貼ってある「休工中」の表示は、小さくて見にくい。看板そのものを撤去することや、看板全部をカバーで覆う等の対策をしてほしい。

<施工者の視点>

- 車道下流で連続して規制がある場合、他工事と調整して『この先〇〇mでも、路上工事中』という工事看板を出してドライバーに情報提供を行なった。

②看板に記載する文字や数字は、見やすくきれいに正確に記入して下さい。

看板が読みにくいと、理解に時間を要したり疑問を感じたりして運転の妨げになり、大変危険であるとともに不満に繋がります。

また、期間や時間帯の誤記入は、ドライバーへ誤った情報を提供することとなりますので、正確に記入するとともに、変更があった際はすみやかに更新してください。

<パトロールの視点>

×工事期間を示す数字が手書きで記入してあるが、薄くて読めない。



写真 1-2 パトロール指摘時点



写真 1-3 改善対応後

③看板は植樹や電柱などの遮るものを避けて設置するとともに、工事看板が重ならないように注意してください。

<パトロールの視点>

×看板が重なって設置されており見えない。

○LED表示で非常に解りやすい。

○工事看板を明るく照らし、可能な限り高く設置しており、ドライバーからもはっきりと判るよう設置されていた。



写真 1-4 看板が重なって設置してあり
背後の看板が見えない状況



写真 1-5 看板がポストと植樹の
背後にあり見えない状況

④その他留意点

- ・複数の工事看板を設置する場合には、工事内容や工期などに表示の差異が生じていないかを確認する。
- ・片側3車線以上の道路に看板を設置する場合には、内側の車線を走行するドライバーにも看板内容が確認できるように配慮してください。

<パトロールの視点>

- ×工事看板と説明看板の工期・工事内容に相違があった。(どっちが正しいのか・・・?)
- ×迂回案内表示板に現在位置の表示が無かった。

<ドライバーの視点>

- ×片側2車線以上の道路で中央分離帯側を走行していると、歩道側に設置された工事看板が見えない。



写真 1-6 パトロール指摘時点



写真 1-7 改善対応後

(2) 渋滞した場合は、より影響の少ない規制方法を再検討

道路使用許可を得たからといって渋滞が発生してもいいとは限りません。

渋滞が発生した場合は、より渋滞による影響を少なくする方法の検討を行い、警察へ相談の上、改善対応を実施してください。

<施工者の視点：改善対応事例>

- 交通の分散を図るため、工事箇所を迂回できる道路よりも手前に迂回看板を追加した。
- 作業帯内の再整理および不要な車両の撤収により作業帯を見直し、交通容量増加による渋滞の低減を図った。
- 施工方法の再検討により、施工スピードを上げることで規制時間を縮小した。
(規制開始時間を遅らせた)
- 平日夜間の交通量が深夜まで多かったため、比較的交通量が少なくなる土日の昼夜に連続して施工し、規制日数を短縮した。

(3) 工事用の照明は、ドライバーに眩しくない配慮を

夜間工事では、施工場所を明るくするための照明の配置や向きによって、ドライバーには眩しくげん感を生じさせる危険もあるので、バイク、普通乗用車、大型車両それぞれの視線で配慮してください。



写真 1-8 車の進行方向に向けて
照明を配置した状況

(4) 交通誘導員は、正確で分かり易い誘導を

停車・発進・車線変更を促す誘導は、ドライバーに向かって適切な方法でおこなうように交通誘導員への指導を徹底して下さい。停車・発進等の合図が不明確であると、その意図がドライバーに正しく伝わらず危険であるとともに、ドライバーのイライラを誘発してしまいます。

また、片側交互通行をする際には、上下線の交通量や渋滞状況、隣接する信号状況など現場状況を踏まえた臨機応変な誘導を心掛け、渋滞を起こさないように、渋滞した場合でも渋滞長が少なくなるようにして下さい。

<ドライバーの視点>

- ×赤色灯の振り方が、交通誘導員によってバラバラで、不明確な誘導は危険。
- ×交通誘導員は、交互通行の時に、車の切れ目や双方の交通量を考えて、誘導してほしい。
- ×交通誘導の不適切さから生じる交通渋滞の発生が不満である。

(5) 工事中の段差は、きちりとした養生を

仮舗装の不陸、覆工板・柵蓋等の凹凸は、車両の安全な走行を阻害するとともに、騒音・振動の恐れがあるため、段差のすり付け勾配を5%以内にして養生してください。

<パトロールの視点>

- ×街渠柵やマンホール蓋の段差養生が不十分で危険であるとともに、車両通過時にガタツキ音が発生している。

(6) 車道側のバリケードは適切に

歩行者の安全のため、歩行者通路のバリケードを適切に設置して下さい。

<パトロールの視点>

×車両が作業帯に接触した際に、コーンバーでは接触音が小さいため気づきにくいというえ、カラーコーンがすべて連結されるため、他の箇所までおしだされ危険である。

また、歩行者がなにかのきっかけで手をついた際に自立しないため危険。

○A型バリケードとの接触音は、周囲への注意喚起となる。

さらに、接触音により作業帯に異常が発生したことを、誘導員や作業員が気づき、早期に対応することができる。また、反射板により、ドライバーからの視認性を期待できる。

×車が仮設中央分離帯の単管バリケードに衝突し、単管が運転手にあたった事例がある。



写真 1-9 コーンバーを使用しており
車両の接触音がしない状況



写真 1-10 A型バリケードを使用し
改善した状況

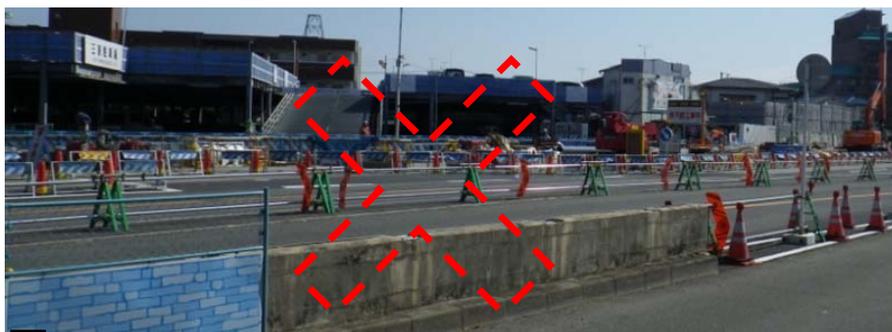


写真 1-11 仮設の中央分離帯に、単管バリケードを使用している状況



写真 1-12 仮設の中央分離帯のバリケードを改善した状況

(7) 隣接して工事をする場合、わかりやすい看板表示を

ドライバーの視点で工事看板の内容や設置位置について、お互いに調整してください。

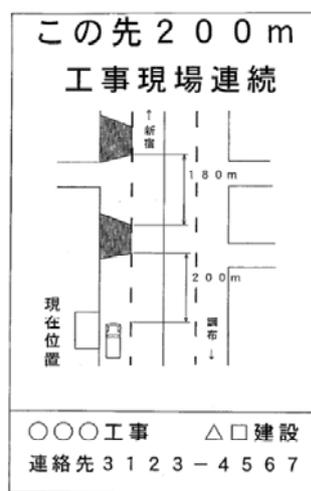
<パトロールの視点>

×調整せずにそれぞれ工事予告看板を設置すると、ドライバーの混乱を招きます。



写真 1-13 工事エリアに、隣接する工事の予告看板があり、ドライバーを混乱させている状況

【改善イメージ】



(8) 右左折レーンにも工事予告看板を

交差点付近で車線を規制する場合、交差する道路から流入する車にも予告をうながし、円滑で安全な交通を確保します。

<パトロールの視点>

×右折（左折）してすぐに車線規制している場合、急な車線変更などを行うことにより、危険であるとともに、ドライバーの不満を招いてしまいます。

○右左折レーンへの工事予告看板設置で、ドライバーが心の準備をすることができます。



写真 1-14 右折レーンの予告看板設置例

2-2 歩行者、自転車等の安全かつ円滑な走行のために

(1) 歩行者通路は明確に

歩道上で工事をするために歩行者通路を設ける場合は、歩行者に戸惑いを与えないために、通行ルートや信号待ちの待機場所を明示してください。

また、歩行者が車道にでたり、作業帯内に入らないように、カラーコーンやバリケードでしっかり囲ってください。

<パトロールの視点>

- ×歩行者が作業帯内に立ち入れる状況となっており危険。
- ×歩行者通路の標示がなく、どこを通行していいのかわからない。
- ×どこまでが歩行者通路か暗くて判りにくかった。
- ×作業帯が暗く、どこが作業帯か認識しにくい。



写真 2-1 作業帯に隙間があり、歩行者通路の矢印が作業帯を指している状況



写真 2-2 迂回路明示の改善メー



写真 2-3 歩行者通路の車道側に大きな隙間がある状況



写真 2-4 歩行者通路を隙間なく設置した状況

(2) 工事中でもバリアフリーを

工事中でも、高齢者や体の不自由な方が安全に通行できるような対策を実施して下さい。

<パトロールの視点>

- ×段差処理（ベニア板スロープ）はなされていたが、板がたわみ不安定である。
- ×段差処理箇所に誘導員が常駐していないため、危険喚起が不足していた。



写真 2-5 すりつけ版がたわみ不安定で、
段差の注意喚起もない状況



写真 2-6 段差すりつけ対策の改善状況

(3) 工事用の照明は、通行者に眩しくない配慮を

夜間工事では、施工場所を明るくするための照明の配置や向きによって、歩行者や自転車には眩しくげん感を生じさせる危険もあるので、通行人の視線で配慮してください。



写真 2-7 歩行者が眩しくて
信号がみにくい状況



写真 2-8 照明の高さ、向き、位置を
歩行者視線で改善した状況

(4) より安全な段差養生を

通行者の立場にたち、より安全な段差解消となる養生をしてください。

<パトロールの視点>

×曲線部分に段差があると、自転車などが不安定となりあぶない。



写真 2-9 段差の注意喚起をしているが、
曲線部に段差があり不安定な状況



写真 2-10 直線部分に段差擦り付けをした
改善状況

(5) 作業帯外での作業をしない

作業帯外の作業は、第三者へ危険を及ぼします。 工事に必要な作業帯を計画して下さい。

<パトロールの視点>

×作業帯外の作業は、危険なうえ、歩行者や通過車両へ不必要な不満を感じさせてしまう。



写真 2-11 作業帯外で作業しており、危険な状況

(6) 横断歩道付近の規制により歩行者の信号待ちスペースを明確に

横断歩道付近に作業帯を設置する場合、停止位置の明確な表示をして下さい。

<パトロールの視点>

×歩行者が車道で信号待ちをする状況は、車両との接触など不安全である。



写真 2-12 信号待ちスペースが不明な状況



写真 2-13 信号待ちスペースを明示した

改善状況

(7) 歩行者に配慮した交通規制帯を設置する

横断歩道付近に作業帯を設置する場合、歩行者目線で規制帯を設置することも大切です。

<パトロールの視点>

×道路使用の範囲内ではあるが、ダンプトラックと規制帯が横断歩道上にかかっているため、横断歩道をあけることが可能であれば歩行者にとっては安全である。



写真 2-14 横断歩道上に規制帯がかかっている状況



写真 2-15 横断歩道をあけた状況

2-3 路上工事へのイメージを悪化させないために

(1) 交通誘導員は、「笑顔」で「丁寧」な声かけを！

歩行者通路の出入口部では「こちらをお通り下さい」、段差のあるところでは「足元にご注意下さい」等、笑顔で声をかけながら誘導することが、安全・円滑な通行だけでなく路上工事のイメージアップにつながります。

また、交通誘導員は歩行者からの質問や問合せの窓口となりやすいため、工事内容に関することも回答できるよう工事周知チラシや迂回案内チラシを携行させるなど、誠意を持って対応するよう指導してください。

<パトロールの視点>

×工事看板の近くに誘導員が側に無言でただ立っているだけではイメージダウンにつながる。



写真 3-1 学童に寄り添って案内する状況



写真 3-2 歩行者に寄り添って案内する状況

(2) 工事関係者のマナー徹底を

現場内は禁煙とすることが望ましいですが、喫煙場所を設定する場合は、路上工事へのイメージが低下しないよう目立たない、通行人に煙がかからない場所を設定してください。

また、服装の乱れも路上工事のイメージダウンとなるので、作業員への指導を徹底してください。

<パトロールの視点>

- ×作業員が作業帯に向かう途中タバコを吸いながら歩いていた。
- ×作業員が作業中にくわえタバコをしていた。
- ×作業員の服装が乱れており、通行者へのイメージダウンになっている。

(3) わかりやすい看板の設置を

- ①汚れた看板は路上工事へのイメージダウンに繋がるため、新しい看板へ更新して下さい。
- ②工期を延伸したときは、工事看板の標示も修正して下さい。工期が過ぎているのに工事を実施している事例も見受けられます。

工事期間をみて、迂回を実施したドライバーに間違っただけの情報を与えてしまうことで、路上工事への不満につながってしまいます。

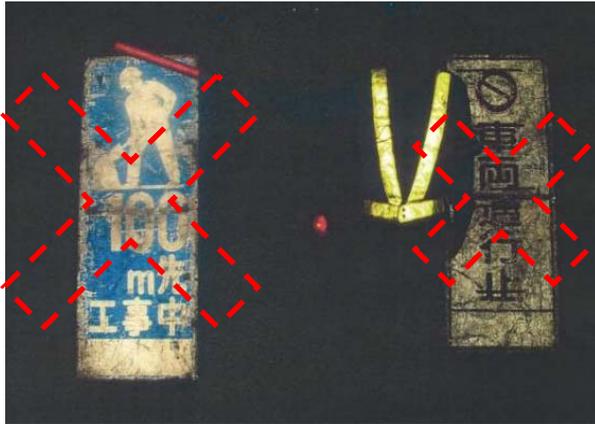


写真 3-3 汚れた看板



図-2 標示版 (工事中看板)

最新の情報を
記入する

<専門家 (コミュニケーション) の視点>

×汚れた看板等は文字が読めないだけでなく、工事現場のイメージダウンとなる。

- ③夜間の現場では、歩行者向けの説明看板に照明を設置したり、路上工事現場用デジタルサイネージ (NETIS登録) を設置するなど、視認性の向上を図り、的確な情報提供に努めて下さい。



写真 3-4 デジタルサイネージ設置状況



写真 3-5 デジタルサイネージ表示例

④工事看板を作業帯の外に設置する場合は、安全のため保護カバーを設置するとともに、はずれやすい
ため、定期的に保護カバーの装着状況を点検して下さい。



写真 3-6 未養生の看板設置状況



写真 3-7 クッション保護材で
養生した改善状況

(4) 工事関係車両は、作業帯内に駐車を

路上工事は、必要最低限の工事関係車両とすることで作業帯をなるべく小さくするとともに、工事関係
車両を作業帯の外に駐車しないでください。

工事関係車両が駐車違反をしているといったイメージダウンに繋がってしまいます。

<パトロールの視点>

×工事関係者と思われるトラックが作業帯の外に駐車されていた。

(5) 発動発電機は、騒音と排気に注意して設置を

歩行者通路の脇や、交差点の横断歩道付近に発動発電機を設置すると、排ガスによって歩行者を不快にさせてしまうので、可能な範囲で離れた場所に設置して下さい。

<パトロールの視点>

- ×発動発電機が歩道脇に置いてあり、通過したり信号待ちをする際に、臭いや煙が気になった。



写真 3-8 歩道脇に発電機を設置している状況

(6) 現場内は整理整頓を

通行人やドライバーの視野に入る場合、現場内やその周辺が雑然としている状況は路上工事のイメージダウンにつながるため、整理整頓を徹底してください。



写真 3-9 工事看板が雑然と置かれている状況

(7) 保安施設は、周囲の景観に配慮しながら、目立つように設置を

工事エリアを囲むB型バリケードは周囲の景観に配慮するとともに、カラーコーンや誘導案内看板を引き立たせるデザイン・色彩としてください。

また、誘導案内看板は安全を意味する色や危険を意味する色をもとに決められていますので、適切に設置してください。

<専門家（カラーコーディネーター）の視点>

×現場の外観を構成するB型バリケードに複数の原色系が配色されており、街の景観とマッチしていない。

<パトロールの視点>

×原色系のカラフルなB型バリケードとカラーコーンが並列して設置してあり、保安施設であるカラーコーンが目立たない。

現況



写真 3-10 現況

- × B型バリケードに黄・緑・青の原色が用いられている。
- × カラーコーンがB型バリケードの色に紛れ目立たない

改善イメージ



上部は、半透明メッシュシート等

写真 3-11

カラーコーディネーターの意見をもとに改善したイメージ

- 街の景観との整合を図るため、B型バリケードに低彩度高明度色である明るいグレーを配色
- 路上工事の目的をB型バリケードにワンポイントで表示

【望ましい色・仕様】

明るいグレー

PCCS 記号[GY8.5]、マンセル値[N8.5]

+

深い青

CMYK 値[C:93.7 M:82.4 Y:3.9 K:0.8]

設置例



写真 3-12 設置例

(8) 迂回案内看板をわかりやすく表示する

通行止めをする際は、凡例や目標物、方向などを記載し、わかりやすい迂回表示をして下さい。

<パトロールの視点>

×案内図がわかりにくいと、不必要な不満を招いてしまう。

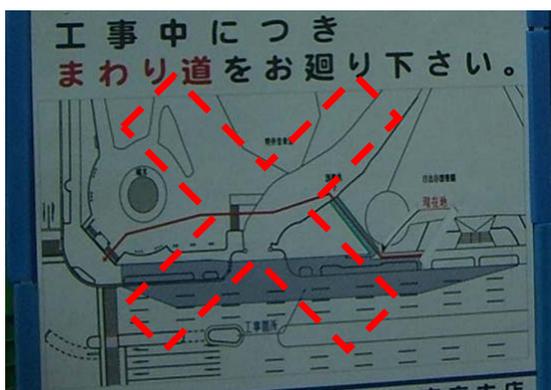


写真 3-13 迂回案内の地図がわかりにくい状況



写真 3-14 ていねいな迂回案内の事例

2-4 ご理解・ご協力を得て進めていくために

(1) コミュニケーションを積極的に

①地域の日常に入り込んで路上工事を実施するので、工事関係者は、沿道の方や通行人に対して積極的に気持ちよく挨拶をしてください。

②地域、現場周辺の課題に応じた地域貢献活動をするなど地域との良好な協力体制の構築に努めてください。



写真 4-1 工所用仮囲いに周辺地域の園児が描いた絵を掲載



写真 4-2 地域住民が参加できる催しを開催

③工事終了後は工事現場だけでなく、その周辺を清掃するなど、地域に貢献することで路上工事の信頼性向上を図ってください。



写真 4-3 工事エリア内にある公園を清掃する地域貢献の状況

(2) 情報提供を積極的に

①工事周知チラシや路上工事現場の看板を有効活用し、工事の目的や内容、完成時期などを道路利用者に分かりやすく説明することで工事へのご理解を頂けるよう努めて下さい。



写真 4-2 工事の必要性を PR する看板

②いつまで続くのか？特に大きな音が発生するのはいつか？など、工事が及ぼす影響を回避できるように、具体的に情報提供を行い、工事へのご協力を頂けるように努めて下さい。

<専門家（コミュニケーション）の視点>

○あとどの位我慢すれば良いか、今はこの段階などの進捗状況の表示が有効である。また、工事により「こんな風になる」等が分かると良い。

<施工者の視点>

○騒音に対する対応として、音の大きい工種（カッターなど）を休日昼間に施工し、それ以外の工種を平日夜間に施工した。

③在日外国人や訪日外国人旅行者の多い地域については、工事看板・工事周知チラシを多言語で記載することを推奨します。



写真 4-3 立入禁止看板の設置状況



写真 4-4 歩行者通路看板の設置状況

工事周知チラシの例

下水道工事についてのお知らせ — Notice of Public Works on Sewer Project

日頃から下水道事業に対して深い御理解と御協力賜り、厚く御礼申し上げます。
この度、皆様方がお住まいの付近で、下水道工事を下記の通り行うことになりました。
Tokyo Metropolitan Government, Bureau of Sewerage is getting ready to start construction on a sanitary sewer improvement project in your neighborhood.
The Construction Project Information are mentioned hereinafter.

皆様には、何かとご不便ご迷惑おかけいたしますが、ご理解とご協力お願い致します。
Your inconveniences and troubles might be caused by the Construction Project.
Your understanding and cooperation would be greatly appreciated.

記 - Project Information -

工事件名 : ○○○○○○工事
Project Name : Sewer Construction & Improvement Project located at "○○○○○"

工事期間 : 平成23年6月～平成25年3月
Construction Period: Start: June 2011, End: March 2013

施工時間 : 昼間作業 9:00～18:00
夜間作業 20:00～5:00
Working Hours: Day Time 9:00 am～6:00 pm
Night Time 8:00 pm～5:00 am

お問い合わせ先 - Contact information
施工会社 : ○○○建設株式会社
Contractor: ○○○ Construction Co.,Ltd.
現場代理人 : ○○ ○○
Project Manager: ○○ ○○
Telephone (office): 03 (1234) 5678

発注者 : 東京都下水道局 ○○下水道事務所
Client: Tokyo Metropolitan Government, Bureau of Sewerage, ○○ Sewerage Office, Construction Division
監督員 ○○ ○○
Project inspector: ○○ ○○
Telephone (office): 03 (8765) 4321

工事箇所図 - Location Map

施工予定 - Construction Schedule -

①	2011年6月～2011年9月	昼間作業 9:00～18:00	立坑工(TNo.4)	Jun-11～Sep-11	DayTime 9:00am～6:00pm	Vertical shaft (TNo.4)
②	2011年9月～2012年6月	昼間作業 9:00～18:00	掘削工	Sep-11～Jun-12	DayTime 9:00am～6:00pm	Jacking Method
③	2012年4月～2012年6月	夜間作業 20:00～5:00	立坑工(TNo.3)	Apr-12～Jun-12	NightTime 8:00pm～5:00am	Vertical shaft (TNo.3)
④	2011年10月～2012年6月	夜間作業 20:00～5:00	立坑工(TNo.2)	Oct-11～Jun-12	NightTime 8:00pm～5:00am	Vertical shaft (TNo.2)
⑤	2011年11月～2012年8月	夜間作業 20:00～5:00	立坑工(TNo.1)	Nov-11～Aug-12	NightTime 8:00pm～5:00am	Vertical shaft (TNo.1)
⑥	2012年9月～2012年10月	夜間作業 20:00～5:00	内面被覆工	Sep-12～Oct-12	NightTime 8:00pm～5:00am	Improvement of existing pipe
⑦	2012年7月～2012年9月	昼間作業 9:00～18:00	埋戻・舗装(TNo.4)	Jul-12～Sep-12	DayTime 9:00am～6:00pm	Backfilling & Pavement (TNo.4)
⑧	2012年6月～2012年10月	夜間作業 20:00～5:00	埋戻・舗装(TNo.3)	Jun-12～Oct-12	NightTime 8:00pm～5:00am	Backfilling & Pavement (TNo.3)
⑨	2012年6月～2012年10月	夜間作業 20:00～5:00	埋戻・舗装(TNo.2)	Jun-12～Oct-12	NightTime 8:00pm～5:00am	Backfilling & Pavement (TNo.2)
⑩	2012年10月～2013年2月	夜間作業 20:00～5:00	埋戻・舗装(TNo.1)	Oct-12～Feb-13	NightTime 8:00pm～5:00am	Backfilling & Pavement (TNo.1)

3. 路上工事への不満予測チェックリスト

沿道住民や道路利用者に対する影響を軽減していくため、工事实施時に確認すべき点を整理したチェックリストを作成しました。

日々、路上工事を実施する際に活用して下さい。

工事名:		発注者名:		工事箇所:	
チェック項目	1. 第3者チェック※1	点検日:	2. 施工業者の対応結果※2		3. 発注者確認※3
			チェック	チェック内容	
(1)車の安全制開始時間等に改善の余地がないか？					
(2)歩行者、自転車等の安全について					
(3)路上工事のイメージについて					
(4)他の現場へも反映すべき良い事項があるか？					
(5)その他(全体を通して気付いた点等)					

※1 チェック(○△×)は、道路利用者(車、歩行者、自転車、車いす等)、地域住民の視点に立つた上で行う。(可能な限り、写真により措置箇所の記録をお願いします。)

※2 ・対応は、規定(ガードマンの配置等)の範囲内で抑え下さない。改善可能なものは改善内容を記載します。
 ・対応は、規定(ガードマンの配置等)の範囲内で抑え下さない。改善可能なものは改善内容を記載します。
 ・改善内容については、今後の資料に活用するため、写真等により改善内容を確認して下さい。

※3 発注者は、改善前後写真等の資料を確認するなど、改善対応についてチェック及び確認を行った印(○)を記入します。

※4 渋滞：車両の走行速度が約20km/h以下の場合

チェック者 会社(機関)名&部署: _____ 連絡先: _____
 名前: _____